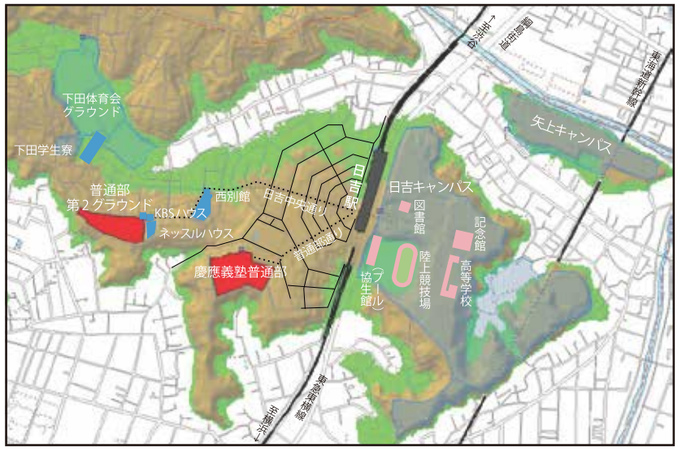
2021年 学校説明会

9月11日（土）・12日（日）　慶應義塾普通部

第93回 労作展

9月25日（土）・26日（日）　慶應義塾普通部

日吉周辺図



東急東横線・東急目黒線・横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅下車 徒歩5分
※東急東横線の特急は日吉駅に停車しません。
日吉駅へは、渋谷から22分（急行18分）、目黒から22分（急行17分）
横浜から16分（急行11分）、あざみ野から16分

慶應義塾普通部
Keio Futsubu School

〒223-0062 神奈川県横浜市港北区日吉本町1-45-1
1-45-1 Hiyoshi-honcho, Kohoku-ku, Yokohama 223-0062
http://www.kf.keio.ac.jp/

TEL 045-562-1181（代表）
+81-45-562-1181
FAX 045-562-8279
+81-45-562-8279

慶應義塾普通部

KEIO FUTSUBU SCHOOL

学校案内 2021–2022

慶應義塾普通部の教育

「慶應義塾の目的」より

―― 我日本国中に於ける気品の泉源、智徳の模範たらんことを期し
……以て全社会の先導者たらんことを欲するものなり。

「自己表現」の涵養と「人間交際（じんかんこうさい）」の学び

普通部長　荒川　昭

新型コロナによって全国すべての学校は様々な影響を受けました。普通部でも昨年の 3 月～ 5 月は休校要請を受けて、オンデマンドのオンライン授業を行いました。

GoogleClassroom を利用して課題配信や授業配信を行い、特に 1 年生は入学して以来 1 度も学校に登校できない日々が続いたので、担任から電話や Zoom で面談をするようにして、早く学校生活に慣れてもらうことを考えました。6 月からは時差、分散登校、生徒数半分で授業を開始し、まずは生徒の安全を考慮しつつ、2 学期には、公開を限定したり形を変えたりして労作展、運動会、目路はるか教室を行いました。普通部では「相対」や「気風」を大事に学校運営を進めています。

1 月に緊急事態宣言が再び発出されましたが、生徒の安全を守るため、毎日サーモグラフィでの検温の実施、加湿器による教室の適正な湿度管理、扇風機による換気、手洗いのための自動水栓化工事、昼食時にホームルーム以外の教室を使って生徒数を半減、分散して、静かに昼食をとることなど様々な工夫をして学校での学びを止めない様に努めています。

このように現在は新型コロナの対応をしながらの学校運営となっていますが、普通部は福澤先生の教えのもと、一貫教育校として独自に工夫した取り組みを行っています。

福澤先生が、未来に生きる慶應義塾の塾生に託したことは、個人として独立して身を立て、やがては広く社会の先導者となり、社会に貢献する人となるということです。

そのため普通部生の第一歩は、自ら学び、自ら考え、日々こつこつと「学び」を続けることで、それは、知識を習得するだけではなく、じっくり観察し、自ら判断・行動し、自己表現することです。「全社会の先導者」となるからには、誰かに「解」を教わるのではなく、自ら進んで「解」を得なければならないので、自ら学び、自ら考えることが大切になります。普通部では、各教科の授業など、生徒の「なぜ」「どうして」という学びの本質を大事にしながら、自分の考えをまとめ表現する機会を多くしています。

福澤先生は、1890年慶應義塾の課程に「大学部」が設置されたのを機会に、従来からの基本的な知識や教養、技術を広く身につける課程を「普通部」とよぶことにしました。この普通部の課程こそ、総合的な判断力を養い、その幅広い教養を実社会に活用させるという、慶應義塾教育の基本的形態そのものです。そして、福澤先生は『学問のすゝめ』初編で「人間普通日用に近き実学」と書いています。学問の本質は「専ら勤むべきは、人間普通日用に近き実学」であること。「人間」は「じんかん」と読み、社会を意味しています。「普通」とは、「普（あまね）く、通ずる」ということであり、普通部で「普く通ずる」学びをすることは、世の中がどのように変わってもとても大事なことです。

また、福澤先生は、独立した個人が、他の人と、幅広く交流し、付き合うことの必要性も説いています。学問をすることによって、人々の志や思想やモラルが高くなり、学問を収めた人には、自然と人望も集まるものであり、学問の発展は先生から教えを受けるだけではなく、同学年や同位の他人との交流からも得られるものであるとされました。

個人として成長するには、他の人からの刺激が不可欠です。相手を互いに評価し合い、心をゆっくり通わせて、一生の仲間を育ててゆく「人間交際」の場に、普通部はなっていくでしょう。普通部には、心を通わせる機会や時間は沢山あります。

普通部には「普通」の教育、労作展、目路はるか教室など「学び」や「人間交際」の場があり、様々な機会に自己表現を磨き、自分のポテンシャルを高め、友達の能力を認めて、共に学び、大いに交流し、心に刻む生活を送ることができると思っています。

受験にとらわれず、心豊かに本当の友達を作る中学時代、学問をする普通部で本当の力を磨き、「全社会の先導者」として活躍されることを期待しています。

Contents

慶應義塾普通部の教育
慶應義塾と普通部の歩み……1・2
教科教育……3
選択授業……7
施設……8
普通部生の１日……9
普通部の１年……9
労作展……11
目路はるか教室……13
部会活動……15
新型コロナウイルス感染症対策について……17
入学……19
学費・費用……20
普通部の特色……21
進学……22

慶應義塾と普通部の歩み

伝統とともに

普通部の「普通」とは、福澤諭吉が『学問のすゝめ』で「人間普通日用に近き実学」という表現を用いているように、「人間なら誰もが身につけておかなければならない基本的な、普遍的な」という意味です。現在の普通部に至るまでの歩みをご紹介します。

1858 福澤塾開く

福澤諭吉が東京築地で蘭学塾を開きました。福澤23歳の時でした。これが慶應義塾の始まりです。福澤や慶應義塾の歴史がそのまま日本の近代教育の歴史につながります。

1859 蘭学から英学へ

福澤は開港直後の横浜を訪れ、それまで学んでいたオランダ語の実用性の低さを知り、英語を学ぶことを決心しました。翌1860年に咸臨丸（かんりんまる）が渡米した時も自ら進んで参加するなど、福澤は幕末に計３回欧米を巡歴し、塾も英学塾に転換しました。

1868 慶應義塾と命名

当時の元号にちなんで塾名を「慶應義塾」と定め、福澤個人の私塾が、福澤と同志門下生との共同結社になりました。5月15日、上野彰義隊の戦いの時には、砲声を耳にしながら、福澤はウェーランド経済書の講義を続けました。1871年にはそれまでの芝新銭（しんせん）座から、三田の現在地に移転しました。

1890「大学部」の開設

新しく「大学部」が開設されるに際して、福澤塾以来の課程を「普通部」と称することになりました。

1898 一貫教育の完成

慶應義塾に幼稚舎（初等教育）から大学科に至る一貫教育の体制が確立しました。この時、普通部は中等教育の課程（5年制）となり、「普通学科」と改称しました。（翌1899 年に再度「普通部」となる。）

1916 全国中等学校野球大会で普通部優勝

第2回全国中等学校野球大会（現在の夏の甲子園大会）で普通部が優勝を果たしました。

1917 綱町時代

普通部は三田綱町（つな）（現中等部所在地）に移転し、ここで多くの伝統が生まれました。

1927 労作展始まる

第１回の労作展覧会（労作展）が開かれました。これは前年に文部省令に先立って導入された手工科（現在の技術科）分野の作品や図画を展示することから始まりました。現在では各教科すべての分野にまで対象が広げられています。

1947 新制中学校へ

学制改革により、それまでの修業年限5年の中学（旧制中学）から、修業年限3年の新制中学となりましたが、伝統ある「普通部」の名称はそのまま受け継がれました。

1951 日吉へ移転

現在の日吉の地に新校舎の一部が完成し、戦災のため一時期身を寄せていた天現寺の幼稚舎から、1学年が移転しました。翌年には全学年の移転が完了し、スキー学校が始まりました。1957年には水泳学校（現在の海浜学校）も始まりました。

1969 選択授業の設置

既存の教科の枠組みにとらわれず、生徒の主体的な選択と取り組みを尊重する教育を実現するため、芸術関係科目を中心に選択授業が始まりました。6 講座からスタートした選択授業は、2020 年度現在、17 講座開講されています。

1998 普通部百年

中等教育としての普通部が百年を迎え、記念式典が行われました。また、「目路はるか教室」も始まりました。2001年には 1年生の 20 人学級がスタートし、9月には新本館が完成しました（2005年から24人学級へ移行）。

2008 慶應義塾創立150 年

日吉キャンパス陸上競技場をメイン会場に「創立 150 年記念式典」が挙行されました。義塾社中一同が集い、「未来への先導」を果たす学塾として社会に貢献し続けることを誓うと共に、創立150 年を祝いました。

2015 普通部新本校舎竣工

1951年以来数多くの普通部生を見守ってきた白亜の校舎を受け継ぎ、2月に新本校舎が竣工しました。多様な授業形態・学習スタイルに対応する教室、設備を整えた校舎が誕生し、次の時代を見据えた新たな普通部が動き始めました。

教科教育

受験から離れて、学問の本質を探求する

慶應義塾大学への進学を前提に、広く深い学識の修得を目指しています。そのためどの科目も満遍なく学ぶとともに、基礎・基本は重視しつつ、学問の本質に迫る授業を心掛けています。授業は講義形式だけではなく、様々な形態を取り入れており、生徒の高い能力に合わせて高度な内容も扱います。2020 年度から一人一台のタブレット端末を導入し、活用しています。

週あたりの授業時数

	国語	社会	数学	理科	英語	芸術	保健体育	コンピュータ	選択	教養	計
1年	6	5	4	5	5	3	4	1	0	1	**34**
2年	5	5	6	4	6	4	3	0	0	1	**34**
3年	5	5	5	4	6	3	3	0	2	1	**34**

国語科

豊かな言葉の使い手になること、そして適切な方法で表現できるようになることを目指しています。

１年生では、学習の根幹となる力を養います。文章読解のほか、文法学習や漢字学習を行います。読書推進と調べ方学習の「図書室の時間」を設けているのも特色です。

２年生では１年次の基礎を踏まえ、学習を深めていきます。たくさんの文章に触れて読む力をつけながら、書く力も向上させていきます。同時に、口頭による表現力、思考力も磨きます。

３年生ではより高いレベルの教材を通し、より発展的な表現や創作につなげていきます。漢字学習は漢検準２級の水準に達します。読む、書く、聞く、話す、それぞれを３年間でバランスよく習得するのが普通部における国語学習の特徴です。

社会科

地理（1・２年計５時間）では、１年生で世界地理、２年生で日本地理を学びます。グローバルな世界の問題から身近な地域の問題まで、広く学習します。講義ばかりでなく、地図でのまとめや発表も行い、生徒の自主性を伸ばすことを心がけています。

歴史（1・2・３年計６時間）では、身の回りの事象との結びつきや土器や石器などの実物を用いての学習から始めて、次第に高度な歴史資料を扱えるようにしています。全体を通じて、実証史学に基づきながらも、知識偏重に陥らない学習に努めています。

公民（2・３年計４時間）では、新聞記事やインターネットからの情報を活用して、社会の仕組みの基礎を理解できるようにしています。時事的な問題にも関心をはらい、それを学術的なことがらと関連させながら理解できるように努めています。

数学科

各学年ともに普通部独自のカリキュラムで授業を行っています。内容によって数学Ⅰ（代数）、数学Ⅱ（幾何）に分け、1年生では 24 人学級での細やかな指導を行っています。

授業では、まず教科書の内容をしっかり学び、基礎力を養成します。その上で発展的内容や応用問題に挑戦して、理解を深めます。ときには教科書を離れて、パズルのような問題で柔軟な思考力を養ったり、実際に立体を作ったりします。

またコンピュータや タブレットを使って、黒板の授業とは一味違った勉強をすることもあります。生徒が自分で問題を作ってそれを互いに解き合ったりすることもあります。こうした一方通行でない授業を通じて、一人一人の数学の世界が広がり、数学の美しさが見えてくることを目指しています。

理科

理科では、実際に自分の目で見て実物に触れるという体験を重視しているため、毎週２時間の連続した実験授業をしています。感染症対策も考慮し、実験や観察は個人を中心に行っており、実験後の消毒を徹底しています。学年毎に 20 テーマほどの実験を行いますが、２時間連続にすることで、通常では 扱うことのできないような内容の実験にも取り組んでいます。例えば「カエルの解剖」「マルチテスターの作成」「火山灰中の鉱物の観察」「天気図の作成」「電気分解」「帯電列」「水平投射」です。実験を行った後は実験報告書を課しています。実験の結果をまとめ、疑問点を調べて考察することで、自らが行ったことについての理解を深めてもらいます。また日常生活の中で観察する力をつけるためにフィールドノートを各自が持ち、身の回りの自然観察も行っています。

教室では、実験内容にも触れながら、科学的な思考を身につけられるような授業を行っています。

英語科

英語は、1年生は24人学級で、２・3年生は40人学級を2分割して授業を行っています。

英語科では、学習を「知識や技能の習得」にとどまらず、「共同体への参加を通して得られる役割や過程そのもの」ととらえ、多様な学習歴の生徒が共同して学習するクラスコミュニティの構築に努めています。「聞く、話す、読む、書く」の4技能統合型の授業の中でペアワークやグループワークを取り入れ、言語形式と意味、機能の関係に焦点をあて、生徒の気づきを促します。eラーニング教材や学習マネジメントシステムを利用したり、タブレットで授業支援アプリを使ってプレゼンテーションやスピーキングを行ったり、多読、暗唱など多様な言語活動を行います。外国語を学ぶことで、見える世界が広がるということを発見してほしいと思います。

教科教育

美術科

美術という言葉を聞いただけで「どうせ自分には才能がないから…」と決めつけて、興味を持とうとしない人は少なくないでしょう。けれども美術は決して才能ある一部の人だけのものではありません。

絵画、工作など何かを作る時、どうしたら作品が完成するか色々考え計画を立てます。材料をどのように使って、どういう工程を経れば出来上がるか。途中で失敗することもあるかもしれませんが、その時はまた違う手段を考えて、なんとか完成を目指します。これはまさにプログラミング的思考であり、中学生のうちに是非伸ばしてほしい能力です。

与えられた知識をただ覚えるのではなく、自分自身で問題解決していく力をつけることが、美術の大切な目的です。自らの頭で考え、作品を作り上げた時の達成感を多くの生徒に味わってもらいたいと思っています。

技術・家庭科

モノを作るということは一人になりきる無心の行為です。集中。一枚の布に糸を通し、そして縫い上げる行為。刃物を研ぐ。鑿を叩く。鉋をかける。工作機械を巧みに操る。油をかけた金属の塊を切断する。ヤスリで成形する。彫金を施す。そして、材料をただ、ひたすら研磨紙で丁寧に磨き上げる。そんな孤独な行為です。

モノを作ることの対極に破壊があります。それは一瞬で事足ります。しかし、作る行為には時間も労力もかかりますし、なにより汚れます。そんな手間のかかる行為を技術・家庭科では大切にしています。

楽しみながら挫折しながら粘り強くしなやかな対応が出来る。そんな普通部生の育成と重ねて「道具を使って作る」という人間に与えられた基本的特性を大切に伝承していくことを目指しています。

音楽科

「自ら音楽表現すること」を大切にして音楽の授業を展開しています。授業は実技演奏中心で行われ、その中で音楽理論・音楽鑑賞等も展開します。

１年生では篠笛・和太鼓による日本の伝統音楽の体験やハーモニカ等の演奏体験、２年生ではクラッシックギター、３年生では日本語や英語の歌詞によるギター弾き歌いを中心に行っています。またクラス全体で60個のドイツ製ハンドベルの演奏や合唱などの大掛かりなアンサンブルも体験します。その楽器演奏を何度も繰り返し練習する過程で、想像力の広がりや効率的練習方法の工夫、何より演奏表現することによって音楽をより身近に感じ取られることを願って授業を展開しています。

３月には音楽会があり、有志演奏や３年生のクラス演奏が繰り広げられます。2020年度はいろいろな制約が生じ、歌唱、篠笛、ハーモニカができない状況でしたが、いろいろ工夫を施して授業を進めています。

書道科

「書とは文字を素材とした造形芸術」です。普通部では、書道の幅広い活動を通して、文字のもつ「美しさ」を自分らしく表現することを大切に授業を展開しています。

１年生では楷書の基礎と行書の基礎を中心に字画構成、筆の使い方、筆圧の変化、余白の活かし方などを学習していきます。１月には書初め大会が行われ、静寂の中、揮毫を行います。

２年生では主に書の古典の臨書・鑑賞に取り組みます。古典学習では用筆法のみではなく作品の歴史的背景、作者の生き方にも迫り、作品との関連を分析していく学習も展開しています。最終的には楷書、行書それぞれ半切の作品に仕上げていきます。

３年生では「１文字アート」をテーマとして、現代空間にふさわしい作品のあり方を模索・検討しながら刻字・篆刻・少字数作品等に取り組み、卒業制作としています。

保健体育科

保健体育では、丈夫で逞しい身体づくりを念頭に心身ともに健全な男子中学生の育成を目指しています。成長期にある男子生徒の特徴を考えながら、様々な授業を展開しています。

実技は、球技（ゴール型・ネット型・ベースボール型）、器械体操、陸上競技、水泳、武道など、3年間のバランスを考えながら実施しています。多くの種目に触れながら持久力、瞬発力、巧緻性、チームワークなどを養ってもらいたいと考えています。

保健では、暮らしに関わるテーマ、身体に関する疑問、動きの仕組み等、実技とは異なる視点から学習をしています。自分の生活、身体に興味を持つことは大切なことだと捉えています。

この授業を通して、様々な対応力を養い、生涯にわたり、スポーツ活動に親しめる心と体の育成を心掛けています。

コンピュータ科

1年生は週に1時間必修の授業があり、コンピュータ教室でパソコンを1人1台使って授業を行います。インターネット接続は専用線で校内LANを利用して、サーバーに作品を保存しています。

ロボット制御の授業では、ロボットを組み立て、プログラムを転送して、自分の考えている通りに動かします。そして、センサーを利用して、ロボットが自分で障害物を避けて動くプログラムを作ります。さらに、タブレットを利用して、世界の講義を動画で視聴できる Web ページを訳す体験も行います。

ホームページビルダーを利用した教材作成の授業では、Web形式での教材作成について学び、Visual Basicを利用したプログラミングは乱数を利用して、自分のアイディアを取り入れたゲームを作成するなど、コンピュータを積極的に使いこなすことを学んでいきます。

選択授業

視野を広げ、理解を深める

フィールドワーク入門

普通部の森造りと自然観察

弦楽器

書-SHO

木管楽器

土に親しむ

デッサン入門

選択授業は、土曜日の３・４時間目に３年生が受講します。教科の枠にとらわれない多彩な講座が提供されています。それぞれの興味や関心に基づき、学びを深め、視野を広げる時間です。2021年度は15講座が開講中です。

2021年度の講座

	講座名		講座名
1	複言語	9	土に親しむ
2	木管楽器 ・フルート・クラリネット・サクソフォン	10	普通部の森造りと自然観察
3	金管楽器	11	演劇
4	弦楽器	12	Digital Humanities
5	書 -SHO-	13	フィールドワーク入門
6	デッサン入門	14	Beyond “数学”
7	選択技術	15	弁護士と学ぶ法律問題 ～人生損しないために～
8	コンピュータ		

※ 授業内容や講座数は年度によって異なります。希望者が多い場合には、面接や選考を行い受講者数を調整することもあります。

専門性　広がる視野　多彩な選択肢

選択授業は実に多様なかたちで展開されます。各分野の最前線で研究をしている方を招いての聴講、美術館や大学研究室への訪問等、その分野の神髄に触れることも大切にしています。

また、自分で調べてまとめたものを発表したり、討論を行ったりという授業もあり、自分の考えをまとめて、発信する力を伸ばしています。

演 劇

演劇の手法を用いて、日常生活のあらゆる場面で必要とされるコミュニケーションについて考察します。与えられた環境で自らを活かす術や、他者との関わり方について、気づきを得る時間です。

選択技術

選択技術では一年間自由工作に取り組みます。写真は、畳サイズの板材を使用して大型の棚を製作している様子です。他にも大型の椅子やテーブル、ナイフ、戦車の模型などを製作する生徒もいます。

施設

本館

１年生教室、目路はるかホール、ギャラリー、教員室、事務室、保健室、談話室、用務員室、応接室、部長室、メディア・ライブラリー（図書室）

本校舎

２・３年生教室、普通教室、コンピュータ教室、AV教室、第３・第４理科室、調理室、北食堂、購買、警備室、屋上

特別教室棟

美術教室、技術教室、書道教室、音楽教室、第１・第２理科室、多目的教室、合併教室

体育館

小体育館

柔道場、剣道場

弓道場、南食堂、部室棟

校庭、第２グラウンド

テニスコート

農園

テニスコート

第２グラウンド

目路はるかホール

可動式客席（250席）をもつ多目的ホールです。講演会やコンサート、生徒の演劇公演、保護者会など、さまざまな場面で使用されています。また、和太鼓や篠笛などの音楽の授業に使われることもあります。

メディア・ライブラリー（図書室）

開架式で蔵書３万９千冊と各種データベースを備えた図書室です。６人用机と自習机があり、休み時間、放課後を使って、調べ物等によく利用されています。また、DVDや音楽を視聴できるAVブースも設置されており、ゆったりとした読書・学習環境が整えられています。

普通部生の1日と1年

1日の学校生活

普通部は週6日制です。月～金曜日は6時限授業、土曜日は4時限授業です。授業は9:00開始で、朝礼や朝のホームルームはありません。
下校時刻は、部会活動参加かどうか、また季節や学年によって変わりますが、最も遅い場合でも 18：00 です。

8:00～8:55 登校

8：55までに登校します。登下校の制服は黒の詰襟、靴は黒の短靴、かばんは学校指定のものを使用します。制帽の着用は自由です。夏の期間は上着を着用しない略装が認められます。

9:00～12:35 1～4時限授業

授業は、教科の特性や授業内容に応じて、ホームルームだけではなく様々な施設、教室を使います。クラスを分割して少人数で行う授業もあります。休み時間には、購買で文房具を購入することもできます。

12:35～13：15 昼休み

家から持参したお弁当、自販機で購入したパンや飲み物は、ホームルームで食べます。それとは別に、定食、カレー、麺類が揃う食堂も利用できます。食後は友達と外で遊んだり、教員と面談をしたりと、思い思いに過ごします。

13:20～15:05 5～6時限授業

大部分の教室に電子黒板をはじめとするICT の環境が整っています。黒板とチョークによる講義形式の授業、タブレットやPCを用いた授業、グループワーク中心の授業など、多様な学びを目指しています。

15:05～ 放課後・部会活動

教室の清掃後は自由に下校できます。部会活動への参加、教員への質問や相談、メディア・ライブラリーでの調べものなど、下校時刻まで各自が有意義に使います。

彩り豊かな普通部の1年

普通部は3学期制です。1年間を通じて様々な行事があり、普段の学校生活とは異なる経験を積むことで、広い視野、豊かな心、強い身体を育てていきます。

— 下線の行事は 2020 年度中止になりました。 ＊印は希望参加の行事です。

4月
- 入学式
- 定期健康診断

5月
- 遠足
- 校内大会
- 野球早慶戦応援（1年生は全員参加）

6月
- 1年生部会入部受付開始

7月
- 林間学校（1・2年生）
- 自然学校（3年生）
- オーストラリア（パース）国際交流（単年度内に相互訪問）＊

8月
- 海浜学校＊
- フィンランド（トゥルク）国際交流（隔年で相互訪問）＊

9月
- キャンプ教室＊
- 労作展

10月
- 運動会

11月
- 目路はるか教室
- 多摩川40 km ハイキング＊

12月
- 芸術鑑賞会
- スキー学校（2・3年生）＊

1月
- 書初め大会（1年生）

2月
- 入学試験
- 合格発表

3月
- 音楽会
- 卒業式
- スキー学校（1年生）＊

入学式

運動会

遠足（1年）

林間学校（2年）

芸術鑑賞会

定期健康診断

早慶戦応援

自然学校（3年）

書初め大会（1年）

卒業式

希望参加の多彩な課外行事

海浜学校

キャンプ教室

多摩川40km ハイキング

スキー学校

国際交流プログラム

2012 年にフィンランド・トゥルク市の中学校と、2015 年にオーストラリアのパース近郊の中高一貫校と、それぞれ国際交流を開始しました。国際語である英語を用いて様々な背景を持つ同年代の人たちと意思疎通を図り、友だち同士になる経験は、グローバルな視野で物事を判断することの大切さや、日本や日本人、自分について改めて考える良い機会になっています。フィンランド、オーストラリア、いずれも相互交流による国際交流プログラムです。

労作展

普通部教育の神髄に触れる

2021年度で93回を迎える労作展覧会（労作展）は、1927年に始められました。自分の力でテーマを見出し、考え、感じ、汗をかき、工夫を重ね、長い時間没頭しながら、一つの作品を仕上げ完成までこぎつける。── そういう体験を積ませたい ── それが今日まで変わらぬ普通部の願いです。芸術科目と共に、学術研究も大事な柱。普通部生の多様な興味関心によっては、教科の枠に収まらない作品も出てきます。一生が変わる出逢いもある。それが普通部労作展です。

労作展では、レポート用紙 100枚にもおよぶ理科や社会科の研究、あるいは国語科で長編小説や詩に挑戦する人もいます。英語の本を日本語に翻訳しようとひと夏を費やす人もいます。毎年テーマを変える人もいれば、同じテーマを 3 年間丹念に深く掘り下げていく人もいます。労作展での研究をもとに、学会発表へと発展していったものや外部で賞を受けたものもあります。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

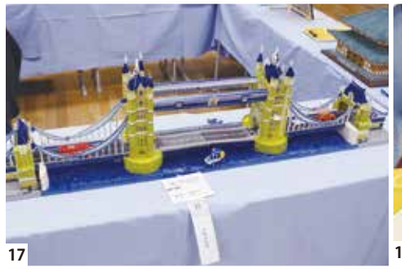
12

13

14

15

16


17

18

19

20

21

22

第92回（2020年度）労作展作品

1 国語　小説「陸とシュウ」
2 国語　津軽弁の研究 ～文法とアクセント～
3 社会　暗渠を探せ！ ～隠された川を辿る～
4 社会　長篠の戦い ～三段撃ちは成立したのか～
5 数学　テンパズルの研究
6 理科　甲虫の仰向け姿勢からの起き上がり動作
7 理科　地震の仕組みと液状化現象
8 英語　英語小説 The Sword of Unity
9 音楽　調の研究と英雄ポロネーズの演奏
10 書道　顔勤礼碑　顔真卿
11 美術　色とりどりの鳥 Ⅶ
12 美術　安寧の徴
13 美術　黎明 ～円覚寺山門～
14 美術　普通部からその先へ ～ゼンタングルアートの集大成～
15 美術　アコヤ貝でつくるサグラダ・ファミリア
16 美術　よみがえれ！ 慶應義塾普通部 綱町旧校舎
17 技術家庭　タワーブリッジ
18 技術家庭　ダンボールで作るミレニアム・ファルコン号
19 技術家庭　世界遺産について ～合掌造り 富山県五箇山～
20 技術家庭　My Treasure Box ～お気に入りに囲まれて～
21 技術家庭　羽を伸ばせる文鳥のお家
22 保健体育　ランニングフォームとそれを支えるシューズの研究

目路はるか教室

先輩から直接学ぶ

普通部の大きな特徴のひとつは、様々な分野の第一線で活躍する多数の卒業生の存在です。目路はるか教室はそのような卒業生を講師に招いて行う特別授業で、1998年の普通部百年を機に始まりました。2021年で24回を迎えます。全学年とも、学年別の「全体講話」と、20～30名程度に分かれて希望の授業を受ける「コース別授業」があります。

第23回（2020年度）目路はるか教室

多彩なコース別授業

各学年の10コースの授業は、経済、法曹、医療、学術、芸能、マスコミ、スポーツなど多様な分野で活躍する先輩方を講師としてお招きしています。コース決定後は、普通部生が自己紹介、授業で聞きたいことをまとめたものを先輩に送ります。先輩方は、それに基づき授業を組み立ててくれます。コース別授業のほとんどは先輩の職場で行われます。その分野の最前線の迫力を感じ、先輩から直接「生き方」を学ぶ貴重な1日となります。

1年Cコース

1年生コース別授業

コース	講　師	演　　題
A	櫻井　伸也	オリンピック目指して始めたアーチェリーと慶應義塾で得たもの
B	山中　宏耕	人生を豊かにする Enjoy アスリートのすゝめ
C	朝倉　浩一	生命と非生命の違いを化学で考える
D	髙﨑　郁雄	豊かな人生を歩むために
E	峯島　茂之	ビジネスとしての建築デザイン
G	佐藤　水暁	競争とは
I	山口　彦之	和菓子ってなんだ？
J	銅冶　勇人	英検４級の″右むけ左″

2年生コース別授業

コース	講　師	演　　題
A	須田　伸一	大学図書館の過去・現在・未来
B	芦澤 直太郎	未来の社長を目指す諸君へ
C	竹下　　啓	Covid-19 パンデミックにおける医療倫理
D	熊谷　善彰	リスクとの付き合い方
E	井口　　寧	これからの銀行
F	藤田　秀樹	真のプロフェッショナルであれ
G	松本 好一朗	外交官の仕事とは
H	村口　太郎	「スポーツ」を伝えるということ
I	大西　信治	世界を旅する弁護士
J	野澤　武史	突破力

2年Hコース

3年Hコース

3年生コース別授業

コース	講　師	演　　題
A	松井　博昭	慶應義塾の繋がりのすばらしさそして保険業界について
B	小泉　　寧	イノベーションの最前線
C	佐野　元昭	Physician-Scientist のすすめ
D	増田　正純	これまでの人生を振り返って
E	力石　尚武	モータースポーツに触れよう
F	本橋　輝樹	無機材料の開発研究を体験しよう！
G	富松　圭介	リスクについて語り合おう
H	小島　清二	裁判をより身近に
I	山本　雅道	ニューヨーク州弁護士は何ができるのか？
J	長谷川 泰治	持続可能な社会に向けた材木屋の挑戦

1年Aコース

1年Bコース

1年Gコース

1年Iコース

2年Fコース

2年Gコース

2年Iコース

2年Jコース

全体講話

学年	講　師	演　　題
1年	三毛　兼承	Diversity について
2年	伊東　　卓	弁護士として歩んだ道を振り返って
3年	齋藤　智也	感染症の危機管理：未確立の領域に挑む

（敬称略）

1年　三毛氏

2年　伊東氏

3年　齋藤氏

目路はるか教室の記録

「目路はるか教室の記録」の冊子を毎年刊行し、普通部生全員に配布しています。

冊子には、先輩方による講義の記録や普通部生へのメッセージ、講義後の普通部生の感想文など、目路はるか教室の足跡が詳細に記録されています。他の普通部生がそれぞれのコースで何を感じ、学び取ったか、そして、自分が社会に出てどのように仕事や世界と向きあっていくか、そんなことを考えるヒントや励ましがつまった冊子です。卒業後も普通部生を支える財産となるでしょう。

3年Aコース

3年Bコース

3年Cコース

3年Dコース

3年Eコース

部会活動

正課を補う充実した時間

日常の普通部生活を学業とともに豊かなものにしているのが部会活動です。自分の興味のあることがらや趣味に応じて各部会に入部し、部員として活動に励みます。他クラスや他学年の普通部生、教員との交流という面でも貴重な場となっています。同じ趣味を持つ者が集い、目標に向け協力する。そうした活動を通じて、生涯にわたり付き合いの続く友人を持つ。これが部会活動の醍醐味のひとつと言えるでしょう。

（部会活動の写真は 2019 年度のものです。）

部会一覧表　2021 年度	
運動部会（21 部会）	
1	合気道部
2	アーチェリー部
3	オールスポーツ・アウトドア部
4	空手部
5	弓術部
6	剣道部
7	ゴルフ部
8	サッカー部
9	山岳部
10	柔道部
11	水泳部
12	卓球部
13	テニス部
14	バスケットボール部
15	バドミントン部
16	バレーボール部
17	保健体育研究会
18	野球部
19	ラグビー部
20	ラクロス部
21	陸上競技部

文化部会（15 部会）	
1	英語研究会
2	演劇・映画の会
3	音楽部
4	物理と化学の会
5	棋道研究会
6	コンピュータ部
7	書道部
8	数学研究会
9	生物の会
10	地理・GIS 研究会
11	農の会
12	美術部
13	フィールドワーク研究会
14	星と石の会
15	歴史研究会

多種多彩な部会活動

いずれかの部会への入部が原則です。1 年生で 9割が運動部会、3 割が文化部会に所属しています。 複数の部会に入部する普通部生もたくさんいます。

入部制限

入部希望者多数の場合、施設、安全面などの理由から人数制限を設ける部会もあります。このため希望した部会に必ず入れるとは限りません。入部制限を設ける部会は、年度により変わります。

部会活動の日数・位置付け

１つの部会の活動日数の上限は決まっており、平日（月～土）は３日まで、長期休業中は休業日数の2分の1までです。部会活動は正課（学業・学級活動）、課外活動（式典、行事等）に次ぐ位置づけであり、あくまで教育活動の一環であると考えています。土曜日を含め、部会の試合に参加する等の事由で授業や学校行事を欠席する場合の公欠制度や補講はありません。

各部会責任者による１年生向け説明会

サッカー部

空手部

陸上競技部

音楽部

ゴルフ部

演劇・映画の会

一貫教育の伝統
～縦のつながり～

慶應義塾大学の学生や社会人のＯＢがコーチとして指導にあたる部会が多いのも、一貫教育校ならではの普通部の特色です。「熱心に指導してくれる上に、いろいろ相談できるコーチの存在」、「慶應義塾の縦のつながりを意識し、自分もその伝統に参加できる喜びを感じる」という声を耳にします。小学生から大学生、さらに社会人までが集って活動する全塾合同の練習会やイベントも行われています。また、中等部や湘南藤沢中等部との対抗戦を定期的に行っている部会もあります。

テニス部

剣道部

アーチェリー部

卓球部

野球部

山岳部

弓術部

バスケットボール部

バレーボール部

フィールドワーク研究会

数学研究会

バドミントン部

合気道部

ラクロス部

棋道研究会

美術部

新型コロナウイルス感染症対策について

休校中の対応

政府からの要請等によって休校になる場合、オンライン授業をおこないます。2020 年度は休校中に Google Classroom を使用した動画配信授業や課題の配信、ロイロノート等を使用した課題の提出、Google Meet や Zoom などのビデオ会議システムを使用したリアルタイムのクラス交流をおこないました。

2020 年度動画配信授業の一部

国語

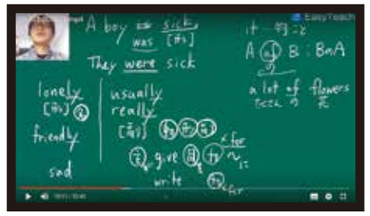
技術家庭

社会（公民）

理科

保健体育

数学

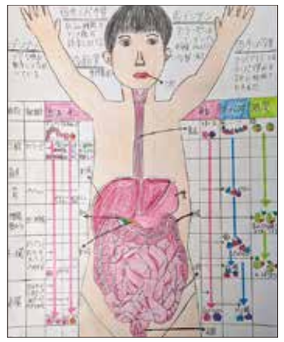


英語

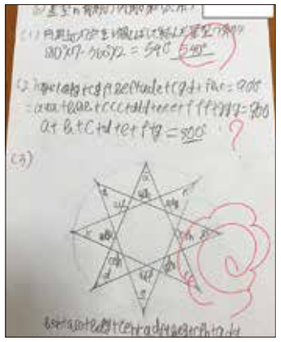
書道

社会（地理）

オンラインで提出された課題


理科

英語


数学

選択授業　土に親しむ

※Google Classroom、Google Meet は Google LLC の商標です。※Zoom は Zoom ビデオコミュニケーションズの商標です。※ロイロノートは株式会社 LoiLo の商標です。

休校解除後の新型コロナウイルス感染症に対する普通部の対応

各教室に送風機と加湿器を設置

食堂に仕切り板を設置

毎日の検温と入校の際のサーモグラフィによる体温測定

自動センサー蛇口の流し台の増設

昼食時の教室人数を半数に分割

図書室自習コーナーに仕切り板を設置

一人１台個人所有の iPad

保健室における校医、保健師との連携

補給専用の冷水器

その他にも授業や行事、部会活動においてもマスク着用、手洗い励行、ソーシャルディスタンスの確保を徹底しています。

入学

募集要項の頒布

2022年度入学試験（2022年2月実施）の募集要項は、2021年9月11日（土）より頒布します。頒布価格は1部700円です。

●学校説明会　2021年9月11日（土）、12日（日）　説明会会場にて頒布します。
時間は11日14:00～17:00、12日10:00～15:00を予定しています。

●9月13日（月）以降

- **普通部事務室窓口**（月～土）9:00～16:30（日曜・祝日、12月28日～1月5日を除く）
- **慶應義塾大学**（日吉、三田キャンパス）正門警備室
  日吉　24時間（無休）
  三田　7:00～22:00（無休）
- **郵送の場合**
  要項代金700円の定額小為替（現金書留可）と250円分の切手を同封し、**住所・氏名・電話番号・要項1部希望**と明記の上、普通部事務室までご請求ください。なお、2部の場合は要項代金1,400円と380円分の切手を同封してください。
  詳細は**普通部事務室**（**TEL 045-562-1181**）までお問い合わせください。

募集人員

男子約180名（内部進学者数により変動）

入学試験

●期日　試験　2022年2月1日（火）

●内容　筆記（国語、算数、社会、理科）、面接試問（本人のみ）、体育実技

●筆記試験の配点と時間

	国語	算数	社会	理科
配点（点）	100	100	100	100
時間（分）	40	40	30	30

●面接試問　複数の面接官が面接を行います。質問内容は年により、面接官により異なります。

●体育実技　年によって内容は変わりますが、柔軟体操のあと簡単な運動を行ってもらいます。

●入学試験結果

入学年度	2017	2018	2019	2020	2021
応募者数	566	615	614	634	603
受験者数	546	591	594	589	563
合格者数	190	190	180	180	195
繰上候補者数	62	59	70	70	70

※平均点、合格最低点、面接の方法・内容等については公表していません。
※試験当日は、会場に携帯電話やその他の通信機器を持ち込むことはできません。

学費・費用

普通部に在学中、必要な学費等はおおよそ以下の通りです。これ以外にかかる費用としては、部会活動の費用等があります。
以下の費用は2020年度のもので、年度によって変動する可能性があります。

納付金

	1年	2年	3年
入学金	340,000円		
授業料*1	860,000円	860,000円	860,000円
教育充実費	200,000円	200,000円	200,000円
普通部会費*2	15,000円	15,000円	15,000円
保有金*3	約65,000円	約30,000円	約50,000円
林間・自然学校費用	約50,000円	約58,000円	約58,000円
普通部独自の物品*4	約39,000円		
	合計　約1,569,000円	**約1,163,000円**	**約1,183,000円**

*1：前・後期に分けて分納できます。
*2：図書資料整備費、行事運営費用、部会活動等に使用します。
*3：副教材、芸術鑑賞会・遠足費用、傷害・賠償保険料、南食堂光熱水費等に使用します。
*4：通学鞄、スモック、体操服（ウォームアップジャケット、ストレートパンツ、半袖シャツ、ハーフパンツ）、運動靴2種の合計額です。
　　制服は、詰め襟であればボタン以外の指定はありませんが、普通部でお求めの場合41,130円となります。
*5：iPad新規購入の場合は約70,000円となります。

任意参加の行事費用

名称	費用（概算）	対象学年
海浜学校	25,000円	1～3年生
冬スキー学校	88,000円	2・3年生
春スキー学校	73,000円	1年生
キャンプ教室	10,000円	1～3年生
フィンランド国際交流プログラム	250,000円	2・3年生
オーストラリア国際交流プログラム	230,000円	2・3年生

奨学金*

名称	条件	支給額	給付／貸与
小泉信三記念奨学金	成績・品行優秀であり、かつ経済的事情で学業の継続が困難な者（第2学年以上）	授業料の全額または半額	給付
2000年記念教育基金奨学金	A. 教育援助型 経済的事情により学業の継続が困難となった者	授業料半期分の範囲内	給付
	B. 国際交流援助型 経済的事情を抱えながら、各一貫校が主催する短期留学・国際交流プログラムに参加する者	国際プログラム参加費の実費の範囲内（50万円を限度）	給付

＊その他各種補助金等もあります。くわしくは事務室までお問い合わせください。

寄付金、学校債*

名称	金額	備考
普通部教育充実資金	任意の金額	
慶應義塾教育振興資金	一口3万円、　できましたら二口以上	
慶應義塾債	一口10万円、できましたら三口以上	大学卒業時、大学院修了時または慶應義塾離籍時に償還

＊寄付金、学校債ともに任意です。いずれも入学手続き後に募集いたします。

普通部の特色

少人数学級
普通部は、1年生24名10学級、2・3年生40名6学級、全校生徒数720名規模の学校です。
授業は、ホームルーム単位で、1年生は24名を基本に行います（2クラス合併の授業もあります）。2・3年生は40名を基本に、英語や理科、3年生の美術などで20名に分割します。
習熟度別授業は実施していません。下位クラスの生徒の動機づけ向上が難しいこともあり、共同学習や学習コミュニティーの形成に注力し、「学び合い、教え合い」のできる学習環境の構築に努めています。

クラス替え
1年生から2年生へ進級する際、クラス替えが行われます。2年生から3年生へはクラス替えはありません。

教養の時間
毎週水曜日の6時限目に「教養」という授業があり、学級担任が担当します。自分自身に関すること、人とのかかわり、集団・社会あるいは生命や自然とのかかわりに関することについて、クラスでの話し合いなどを行い、それらを通じて普通部生としてのあり方について考えていきます。

補習
補習授業の制度はありませんが、授業担当者やクラス担任が個別の学習相談・質問に随時対応しています。
わからないことがあるときは友人や先生に質問ができる、何か困ったときは気軽によく話ができる先生がいる、そうした学習環境作りを通して自分なりの学習のやり方を身に付けてほしいと考えています。

進級・再修
成績は、各科目5段階評価で、年3回、学期末に通知されます。期末試験を中心に、小テスト、レポート、提出物、平常点などが評価の対象となります（保健体育、芸術科目は通例、期末試験を行いません）。
入学してしまえば、何もしなくても自動的に進級できると誤解する人がいますが、学年ごとに「再修」の制度があり、進級基準に満たない場合は進級できません。なお、再修できるのは1回のみとなっています。

保護者会・授業参観
普通部にはPTA組織がありませんが、保護者会が年間5回（1年生は6回）あります。保護者会では、普通部長の話、校医の話などがあり、クラス担任との懇談や二者面談が行われます。日頃の学習状況や学校活動について、ご家庭との連絡を密にとり、教育効果を高めています。授業参観は1年生の1学期に行われ、授業の様子を知るよい機会となっています。

健康管理
保健室は、大学保健管理センターと連携しており、保健師、校医（小児科医）が在室しています。また、林間・自然学校には医師と看護師が同行するなど、生徒の健康には万全の注意を払っています。心理面については、スクールカウンセラーがカウンセリングを行います。そのほか、スポーツ専門医によるスポーツ医学相談（年3回）、保健体育の授業で救急救命の基礎を学ぶ BLS(Basic Life Support) 講習があります。
食物アレルギーについて、学校として特別な対応はしていませんが、校医の助言を受けることができます。

名簿
普通部生全員の氏名、住所、電話番号を記載した名簿を作成、配布しています。

通信手段、携帯電話
ご家庭と学校とのやり取りは、対面と電話を基本にし、電子メールやSNSは利用しません。緊急時には、電話連絡網と一斉送信メールを利用します。携帯電話は学習への集中をそぎ、トラブルも少なくないため、理由のいかんを問わず学校への持ち込みは認めていません。

通学圏

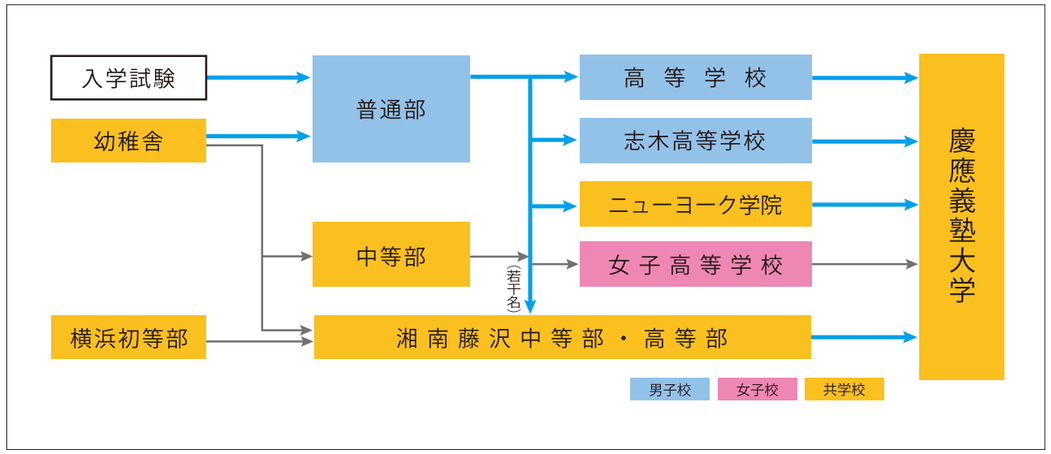
東京都	62%
神奈川県	34%
その他 埼玉県、千葉県、静岡県	4%

2021年1月現在

進学

普通部の卒業生は、慶應義塾高等学校、慶應義塾志木高等学校、慶應義塾湘南藤沢高等部、慶應義塾ニューヨーク学院（高等部）の中から希望する高校を選ぶことができ、普通部長の推薦により進学します。（湘南藤沢高等部への進学者数については制限があります。）
高校卒業後は、各高等学校長の推薦により慶應義塾大学へ進学します。学部ごとに人数の上限が設けられているため、第一希望の学部に推薦されないこともあります。学部推薦の詳細については、各高等学校へお問い合わせください。

進学



卒業生の進路

卒業年度	2016	2017	2018	2019	2020
慶應義塾高等学校	226	231	221	227	225
慶應義塾志木高等学校	0	0	1	1	2
慶應義塾湘南藤沢高等部	2	2	6	3	6
慶應義塾ニューヨーク学院	0	0	0	1	0
その他	0	2	4	0	0